

市民の科学講座
有明海学
2015
特別講義

クラゲが すくった水族館

どん底からの大逆転！ 自然系施設の展望

ミニ
講演会 参加
無料

世界一のクラゲ水族館 新館長来る！



加茂水族館 館長 奥泉和也氏

2015年 11月15日(日) PM 1時～

鹿島市生涯学習センターエイブル3階 研修室

お問い合わせ

鹿島市生涯学習センター



TEL 0954-63-2138

鹿島市大字納富分2700-1



有明海で採集された
新しいクラゲの紹介も！



日本初確認種

主催

(一財)鹿島市生涯学習・文化振興財団
佐賀大学低平地沿岸海域研究センター
道の駅鹿島(七浦地区振興会)

後援

まえるみ市民の会

協力

鶴岡市立加茂水族館

クラゲがすくった水族館：どん底からの大逆転

～自然系施設の展望～

有明海秋イベント 2015 / 市民の科学講座「有明海学 2015」特別講義

山形県鶴岡市にある加茂水族館は、クラゲ展示数 50 種類以上を常時飼育展示し、ギネス世界記録に認定された水族館であり、いまや世界で人気のある水族館のひとつとなっている。

そんな加茂水族館も 1990 年代には入館者数の激減により閉館の危機に直面する時期があった。そこで今回は、閉鎖の危機から脱却し、世界有数の水族館に這い上がるまでいきさつについて同水族館の奥泉館長から紹介頂きます。

それによって「科学コミュニケーションツール」としての施設(有明海では鹿島市干潟展望館(館内に佐賀大学干潟環境教育サテライトむつごろう館)を併設)のあり方も考えます。また、最近有明海で話題となっているビゼンクラゲや、日本で初記載されたヒドロクラゲ類についても併せて紹介し、有明海の魅力を地元鹿島の皆さんへご紹介いたします。

日時： 2015 年 11 月 15 日(日) 13:00～15:30

場所： 鹿島市生涯学習センター エイブル 3 階研修室

13:00～ 開会、特別講演

「弱小水族館から最強水族館へ」

奥泉和也(鶴岡市立加茂水族館 館長)

「有明海を感じる施設～鹿島市干潟展望館」

中村安弘(七浦地区振興会 同施設担当)

「クラゲ研究からみた有明海」

藤井直紀(佐賀大学低平地沿岸海域研究センター)

15:30 閉会

主催： 佐賀大学低平地沿岸海域研究センター
七浦地区振興会
鹿島市生涯学習・文化振興財団
後援： まえうみ市民の会
協力： 鶴岡市立加茂水族館

奥泉和也 氏



1964 年 山形県鶴岡市(旧藤島町)誕生
1983 年 山形県立庄内農業高等学校卒
加茂水族館にアシカ飼育員として勤務
1997 年 偶然、クラゲを発見、展示を開始
1998 年 飼育課長に就任。
2000 年 クラゲ展示数日本一(12 種類)となる
2002 年 繁殖賞受賞(キタミズクラゲ)
2003 年 山形大学理学部パラオ調査隊
に参加(以降 8 回参加)
2005 年 クラゲ展示数世界一(20 種類)となる
2007 年 副館長に就任
水族館の仕事 東海大出版会 分担執筆
繁殖賞受賞(オキクラゲ)
2008 年 古賀賞受賞(動物園水族館協会最高賞)
2010 年 有害生物対策委員(キタミズクラゲ)
2011 年 山形新聞 日曜随想執筆(月一回)
2012 年 クラゲ飼育種類数世界一ギネス認定
第 8 回世界水族館会議出席
(南アフリカ・ケープタウン)
2014 年 山形新聞「ふわりくらげ」連載開始
(毎週土曜日)
2015 年 第 1 回世界クラゲ会議開催
2015 年 館長就任
日本クラゲ大図鑑 平凡社 分担執筆

現在 3 姉妹の父、趣味はジャズ、温厚で優しい人柄からクラゲ界の中では「良きお父さん」的な存在でもある。



佐賀大学・エイブル・まえうみ市民の会・道の駅鹿島では、協働で有明海に関するさまざまな事業、イベントを展開しております